

木簡学会役員（一九九三・九四年度）

会長	狩野 久	町田 章	
副会長	早川 庄八	石上 英一	鎌田 元一
委員	綾村 宏	榮原永遠男	佐藤 宗諄
	鬼頭 清明	東野 治之	永田 英正
	館野 和己	平川 南	松下 正司
	原 秀三郎	吉田 孝	和田 萃
	山中 敏史	八木 充	
監事	笹山 晴生	櫛木 謙周	鷺森 浩幸
幹事	今津 勝紀	鈴木 景二	寺崎 保広
	清水 みぎ	西山 良平	橋本 義則
	土橋 誠	吉川 真司	渡辺 晃宏
	森 公章		

編集後記

毎年のことだが、本誌を学会当日に合うよう刊行するのは、まさに綱渡りのな仕事である。本年もようやく先が見え、どうやら編集後記を書く段階になった。種々の御苦勞をかけた奈文研史料調査室の方々、幹事の諸氏、それに編集実務にとくに尽力して下さい。た寺崎保広氏に謝意を表したい。

本号には、各地の発掘担当の方々の御協力のもと、例年どおり多くの出土情報を掲載できた。お忙しい中、時間をさいて御執筆下さった諸氏に対し、あつく御礼申し上げる。また加藤友康氏は、昨年の大会報告をもとに書き下ろされた力編を寄せて下さり、それに加えて田中淳一郎氏には、興味深い近世の資料を御紹介していただくことができた。総目次は寺崎氏の労になる。

本号は、頁数において前号を下回ることになったが、本誌の重点は、創刊以来、木簡の出土情報の提供にあり、編集体制が必ずしも十全とはいえない現状では、むしろ本号のヴォリューム程度が妥当なところではなからうかと思う。会員諸氏の御賢察をお願いするとともに、今後一層の御支援をお願いしたい。

（東野治之）